

学びを、価値に変える

～AI・デジタル人材育成におけるマイクロクレデンシャルの実践～

September 2026

株式会社zero to one

代表取締役CEO

竹川 隆司





竹川 隆司

Takashi Takekawa

株式会社 zero to one 代表取締役CEO
一般社団法人日本ディープランニング協会 理事・人材育成委員
東北大学共創戦略センター 特任教授（客員）

国際基督教大学教養学部卒。野村證券株式会社にて支店営業・人事採用に従事ののち、野村ロンドン、フィルモア・アドバイザー執行役員を経て、2011年4月、米国ニューヨークにてAsahi Net International, Inc.を設立、高等教育機関向け教育支援システム事業のグローバル化を推進。2014年に帰国後は東北の復興支援活動に参画、宮城県登米市にて「東北風土マラソン&フェスティバル」を立上げ。また同時に一般社団法人インパクトジャパンにて、カタルフレンド基金を受けた、東北での起業家育成・支援プロジェクト「INTILAQ」(インティラック)を主導、仙台市にイノベーションセンターを設立。2016年仙台市にzero to oneを創業、AIなど高度IT分野の人材育成をオンライン中心に推進中。2006年ハーバード・ビジネス・スクールMBA。

経産省「デジタルスキル標準検討会」委員（2021年度）、仙台市「総合計画審議会」委員（2019～2022年度）なども務める。

私の原体験

2010



2011



2012



2012



2015-16



マイクロレデンシャルの活用



MASSACHUSETTS INSTITUTE OF TECHNOLOGY
SLOAN SCHOOL OF MANAGEMENT

THIS IS TO CERTIFY THAT

Takashi Takekawa

HAS SUCCESSFULLY COMPLETED THE EXECUTIVE PROGRAM

Artificial Intelligence: Implications for Business Strategy

July 2019

A handwritten signature in black ink, reading "Peter Hirst".

PETER HIRST
Associate Dean, Executive Education

1519146



U C B E R K E L E Y

This is to confirm that

Takashi Takekawa

*Has successfully completed
the online short course in*

ARTIFICIAL INTELLIGENCE STRATEGY

March 2020 - May 2020

A handwritten signature in black ink, reading "Catherine Browning".

Catherine Browning
Assistant Dean of Academic Programs
UC Berkeley School of Information

2820178797

マイクロレデンシャルの活用



Search

Home

My Network

Jobs

Messaging

Notifications



Takashi Takekawa
Founder and CEO of zero to one, Inc.



Artificial Intelligence Strategy
UC Berkeley School of Information
Issued May 2020
Credential ID 2820178797

Show credential



Artificial Intelligence: Implications for Business Strategy
MIT Sloan School of Management
Issued Jul 2019

Show credential



Takashi Takekawa
2件の認定資格 | 2件の発行者



Artificial Intelligence Strategy
2020年6月1日
UC, Berkeley



Artificial Intelligence: Implications for Business Strategy
2019年7月8日
MIT Sloan School of Management

4

会社概要

2016年1月設立

(本社) 宮城県仙台市若林区卸町2-9-1

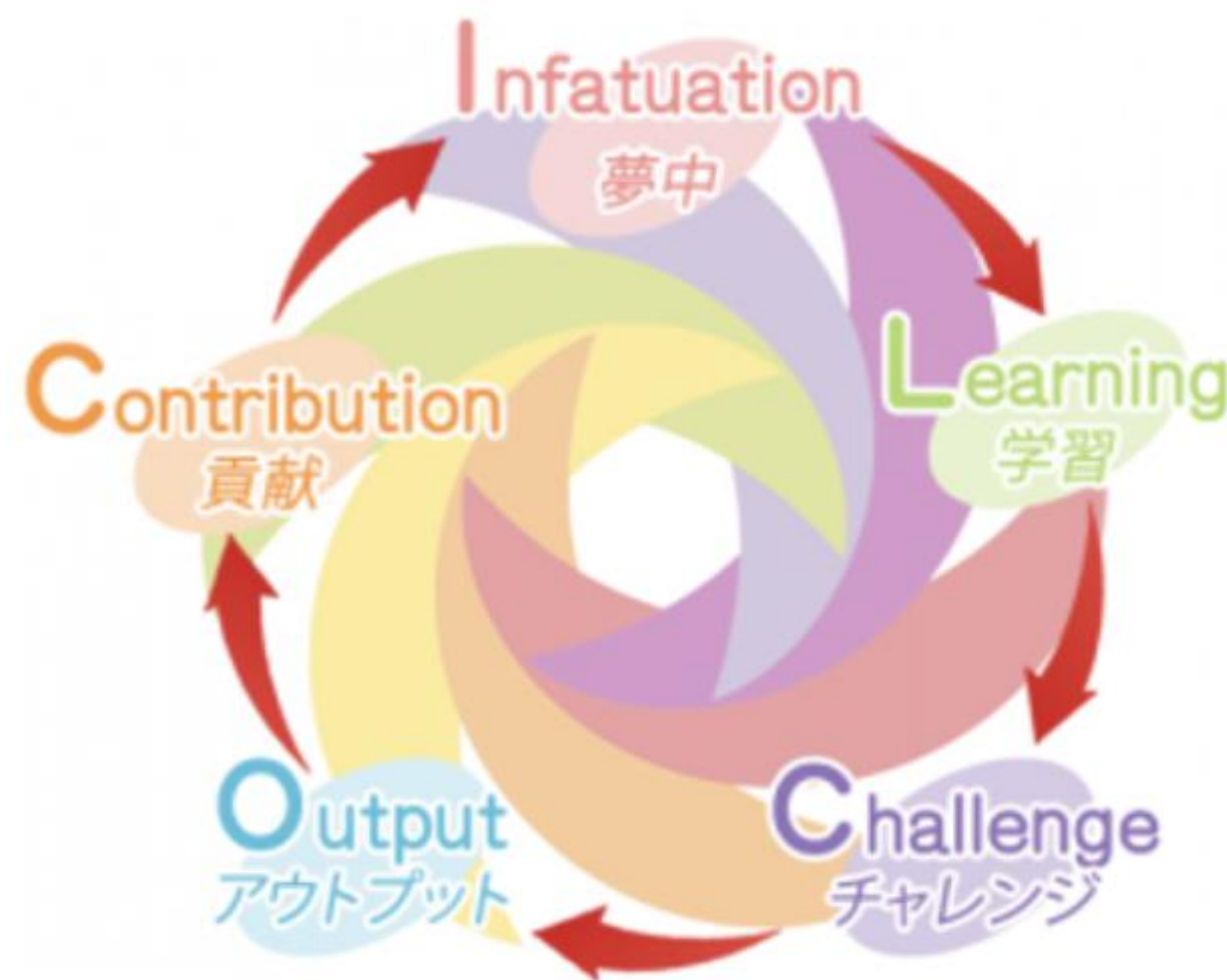
(東京オフィス) 東京都港区六本木7-14-23

(大宮オフィス) 埼玉県さいたま市大宮区宮町1-86-1

河合塾
グループ

↓ J-Startup
TOHOKU

「社会とともにイキイキと生き続ける力を引き出す」



私たちは、幸せな人の定義を「イキイキと生き続けている人」とし、社会に出たあと生涯にわたって「イキイキと生き続けるための力」を育むことを目的に事業を行っています。

イキイキと生き続けるとは、「夢中になってアウトプットを目的にした学習とチャレンジが行なわれ、創出したアウトプットが社会やコミュニティの発展に貢献していること。そして、貢献を自ら実感することで、再度夢中になること」と定義しています。

このサイクルが生涯にわたって回り続けている幸せな人が増え、世の中に夢中があふれている社会をつくることに貢献してまいります。

会社顧問

東北大学大学院
情報科学研究科教授



岡谷 貴之

東京大学名誉教授



黒川 清

東京大学大学院
工学系研究科教授



松尾 豊

京都大学
学術メディアセンター教授



飯吉 透

産学連携で主にデジタル分野のコースを**完全オンライン**にて提供中



NEW

社会課題・ビジネス
課題解決のためのデ
ータリテラシー講座

AI

JDLA「G検定」向
け対策プログラム
(人工知能基礎&G検定実践トレ
ーニング)

人工知能基礎

G検定
実践トレーニング

デジタル
マーケティング

E資格 for Global AI
Engineer
(JDLA・E資格認定プログラム)

Reスキル講座

JDLA「E資格」向け
認定プログラム
(JDLA・E資格認定プログラム)

Reスキル講座

機械学習
(JDLA・E資格認定プログラム)

Reスキル講座

ディープラーニング
(JDLA・E資格認定プログラム)

E資格
スピードパッケージ
(JDLA・E資格認定プログラム)

Reスキル講座

自動運転システム
構築完全講座
(autoware.universe 対応)

Deep Learning
実践編

自動運転システム構
築エンジニアリング

事業実績

6年間で、大企業中心にのべ**600**社、**20,000**名以上のAI/デジタル人材を育成

NOMURA

NRI 未来創発
Dream up the future. 野村総合研究所

Orchestrating a brighter world
NEC

CTC
Challenging Tomorrow's Changes

TIS
TIS INTEC Group

ICS

FUJITSU

HITACHI
Inspire the Next

KOKUYO

NTT PC

LIFENET
LIFENET INSURANCE COMPANY

より、そう、ちから。
東北電力

大学向け実績

東北大学

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY

一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

行政向け実績

仙台市
SENDAI CITY

豊田市
Toyota City

高知デジタルカレッジ

参加者募集

AIビジネス活用講座

AIをビジネスに活用するための知識やスキルを学ぶ3講座を実施!

- 1 AIハンズオンセミナー
- 2 AIリテラシー講座
- 3 AIエンジニア育成講座

全講座、今秋の最新オンライン講座「AI for Everyone」(JDLA特別版)を受講できます!

なぜ今マイクロレデンシャルか？



Tackling talent shortages in the tech sector effectively requires innovative approaches and collaborative efforts by all stakeholders. The skills-first approach broadens the talent pool by considering candidates with diverse backgrounds, thereby reducing dependency on traditional recruitment pipelines.



Within Europe, a growing number of people need to update and improve their knowledge, skills and competences to fill the gap between their formal education and training and the needs of a fast-changing society and labour market.



39% of workers' core skills are expected to change by 2030.

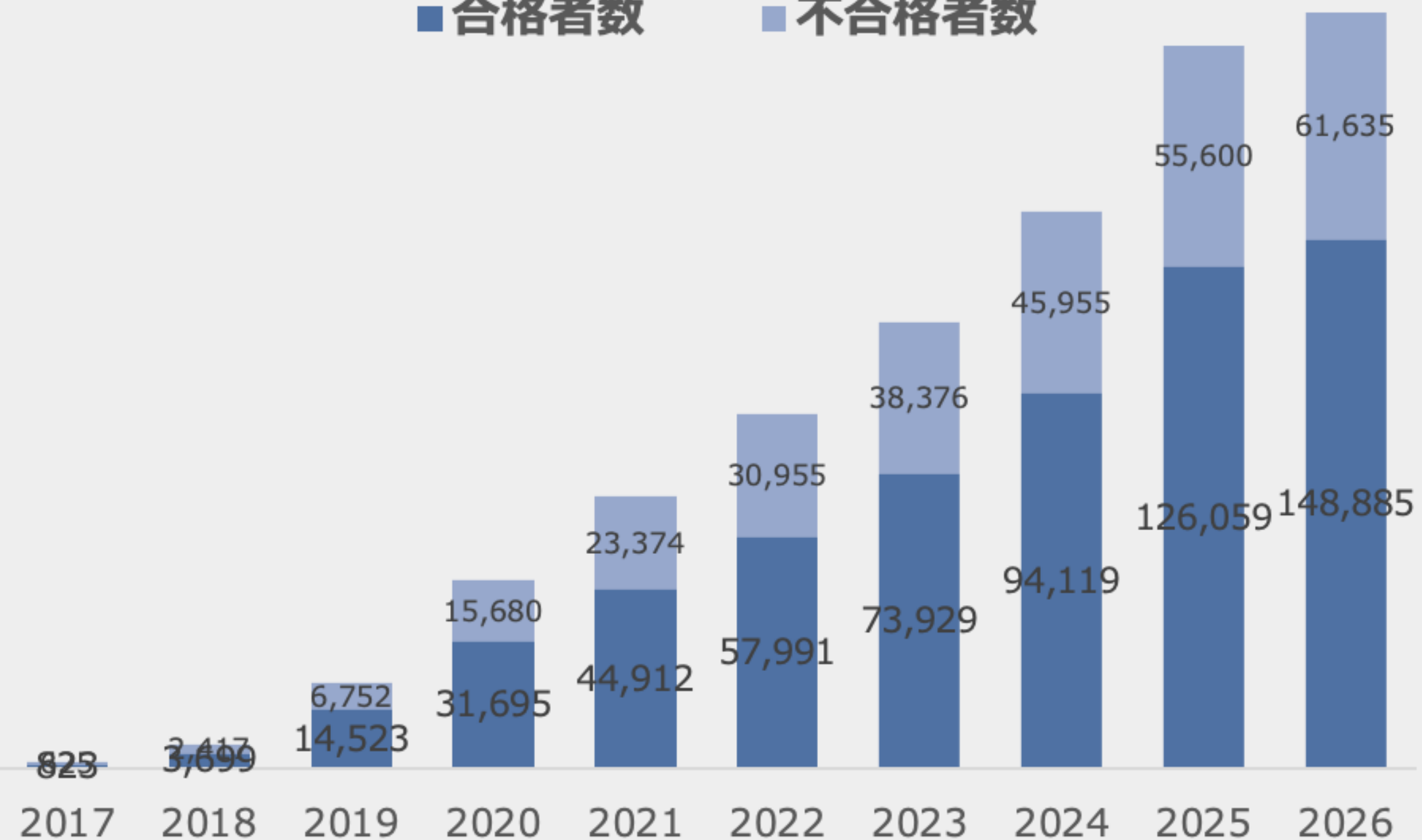
マイクロレデンシャルの形：①業界団体型



G検定|ジェネラリスト検定

G検定 累計受験者: 210,520名
累計合格者: 148,885名

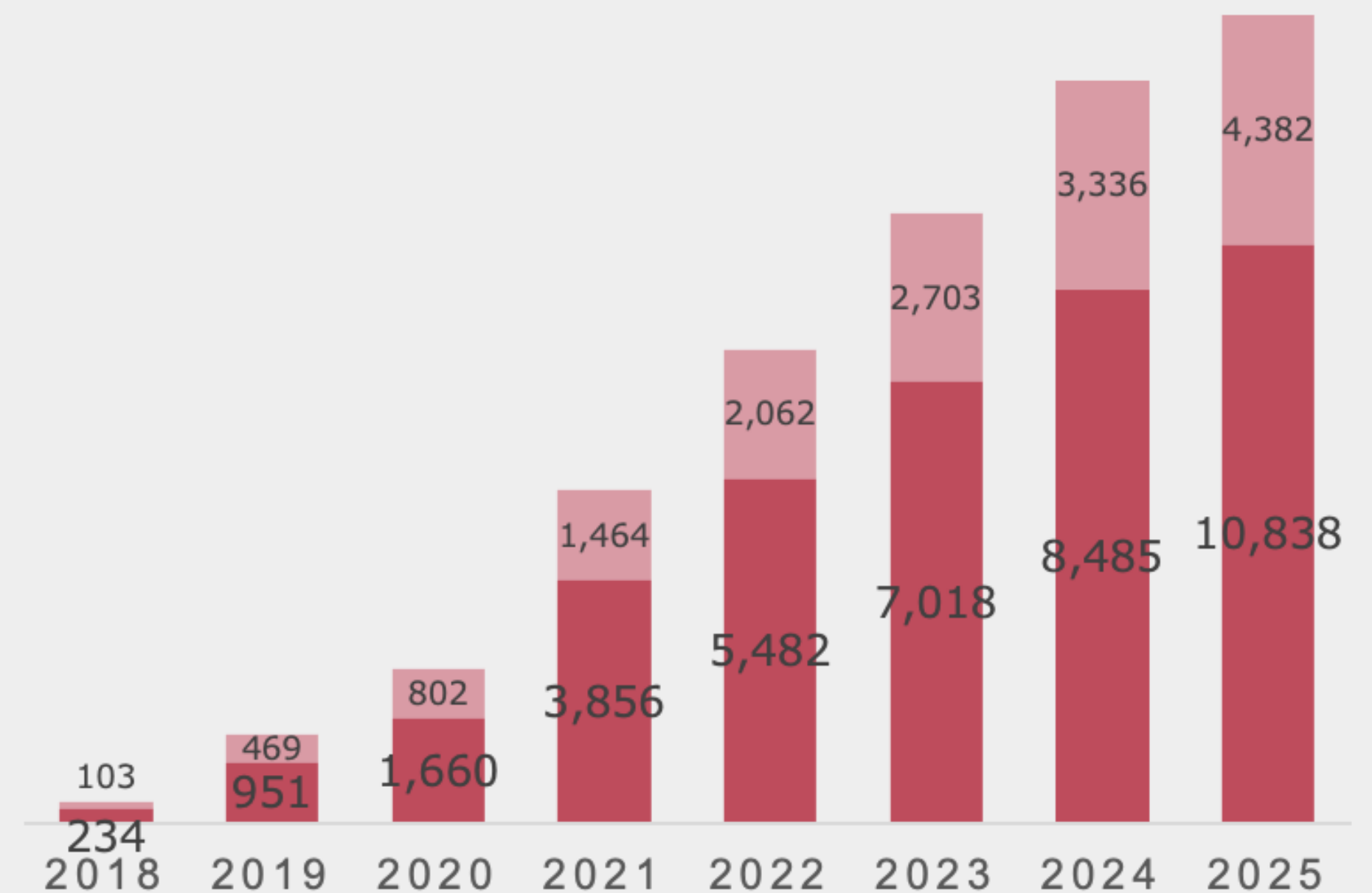
■ 合格者数 ■ 不合格者数



E資格|エンジニア資格

E資格 累計受験者: 15,220名
累計合格者: 10,838名

■ 合格者数 ■ 不合格者数



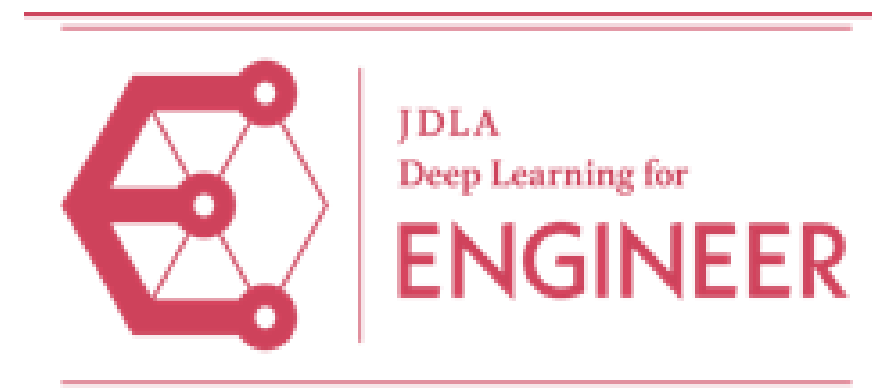
マイクロレデンシャルの形：①業界団体型

名称	一般社団法人 日本ディープラーニング協会				
英称	Japan Deep Learning Association		略称：JDLA		
理事長	松尾 豊	東京大学	特別顧問		
理事	井崎 武士	エヌビディア合同会社		小宮山 宏	株式会社三菱総合研究所理事長、 第28代東京大学総長
	江間 有沙	東京大学国際高等研究所東京カレッジ			
	岡崎 直観	東京科学大学 情報理工学院		谷口 功	独立行政法人国立高等専門学校機構 特別顧問
	岡田 陽介	株式会社ABEJA			
	岡田 隆太郎	当協会専務理事		三村 明夫	日本製鉄株式会社 名誉会長
	柿沼 太一	弁護士法人STORIA法律事務所			
	竹川 隆司	株式会社zero to one		森 信親	東京大学大学院経済学研究科金融教育研究センター招聘教授、 元金融庁長官
	長崎 忠雄	OpenAI Japan 合同会社	顧問		
	南野 充則	株式会社GROWTH VERSE		森 正弥	株式会社博報堂DYホールディングス CAIO
	西山 圭太	東京大学未来ビジョン研究センター			
	藤吉 弘亘	中部大学		吉本 豊	JSR株式会社執行役員
	八木 聡之	富士ソフト株式会社	監事		
	山下 隆義	中部大学		江戸川 泰路	(江戸川公認会計士事務所)

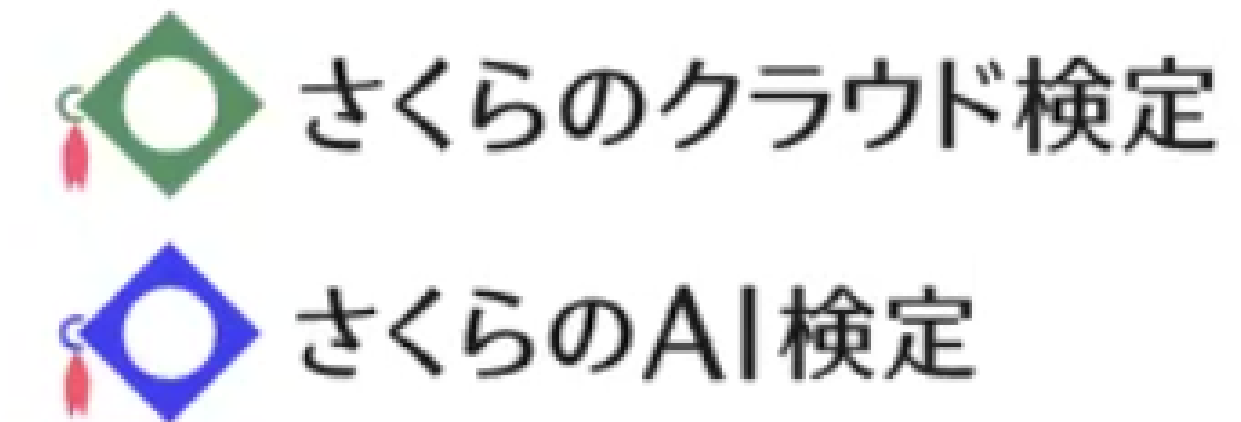
マイクロレデンシャルの形：①業界団体型

石川 冬樹 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 准教授	石黒 浩 大阪大学大学院基礎工学研究科 教授
江間 有沙 東京大学 国際高等研究所東京カレッジ 准教授	牛久 祥孝 オムロン サイニックエックス株式会社 リサーチバイスプレジデント
岡崎 直観 東京科学大学 情報理工学院 教授	岡谷 貴之 東北大学 大学院 情報科学研究科 教授
尾形 哲也 早稲田大学 基幹理工学部表現工学科 教授	柿沼太一 弁護士法人STORIA法律事務所 代表パートナー弁護士
北野 宏明 ソニーコンピュータサイエンス研究所 代表取締役社長兼所長	柴山 吉報 阿部・井窪・片山法律事務所 弁護士
巢籠 悠輔 東京大学大学院 工学系研究科 招聘講師	清田 純 国立研究開発法人理化学研究所 情報統合本部 チームリーダー
Shane GU Google DeepMind 研究員	中島 秀之 札幌市立大学 理事長・学長
羽深 宏樹 京都大学 法政策共同研究センター 特任教授	藤吉 弘亘 中部大学 工学部 ロボット理工学科 教授
松尾 豊 東京大学大学院 工学系研究科 教授	松原 仁 京都橘大学工学部 教授、情報学教育研究センター長
馬淵 邦美 一般社団法人Metaverse Japan 共同代表理事	丸山 宏 Preferred Networks PFNシニアアドバイザー
山下 隆義 中部大学 工学部 情報工学科 教授	安田孝美 名古屋大学 大学院情報学研究科・情報学部 教授

マイクロレデンシャルの形：①業界団体型

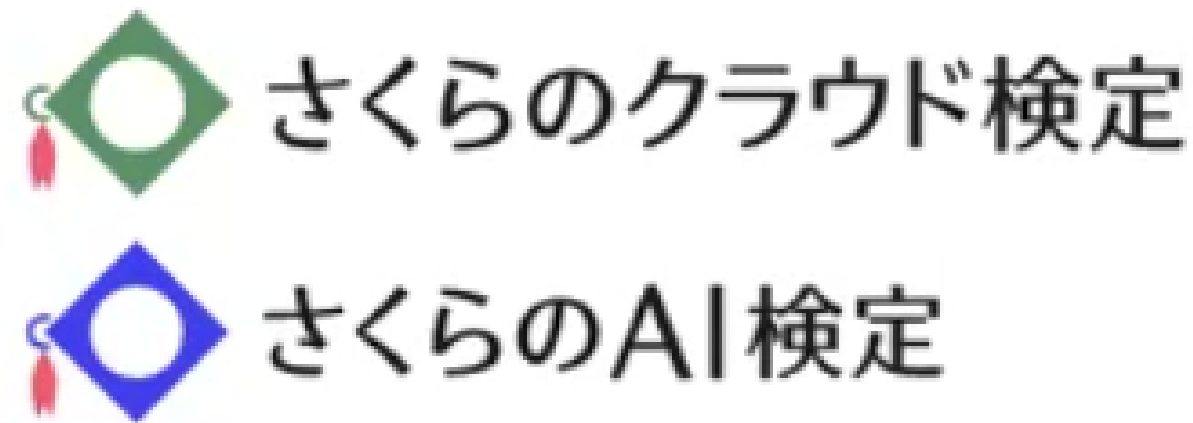


マイクロレデンシャルの形：②企業型



- ✓ 学習者が知っていること、理解していること、またはできることを証明する、対象が重点化された学修成果の記録
- ✓ 明確に定義された基準に基づいたアセスメントを含み、信頼できる提供者によって授与されるもの
- ✓ 単独で価値を持ち、さらに他のマイクロレデンシャルまたはマクロレデンシャルの一部を構成したり、それらを補完したりすることができるもの（既修得学習の認定も含める）
- ✓ 関連する質保証が求める基準を満たすもの

マイクロレデンシャルの形：②企業型



✓ 学習者が知っていること、理解していること、またはできることを証明する、対象が重点化された学修成果の記録

学ぶべき中身がシラバスで明確に定義・公開

経済産業省「DXリテラシー標準」にも準拠

#	大項目	#	中項目	#	小項目	学習目標	キーワード	
1	デジタル技術の基礎	1.1	クラウド	1.1.1	クラウドサービスの歴史	・クラウドサービスがどのように発展し、DXで活用される標準的なデジタル技術の一つとなったのか理解する	クラウドの概念、NISTクラウド定義	
				1.1.2	クラウドの基本的な特徴	・クラウドの基本的な特徴を知り、それらが社会やビジネスにどのようなメリットをもたらすのか理解する	オンデマンド・セルフサービス、幅広いネットワークアクセス、リソースの共用、スケーラビリティな拡張性、サービスが計測可能	
				1.1.3	クラウドサービスの形態	・クラウドサービスモデルの個々の特性を把握し、それらがどのようなケースで利用されるのか理解する	SaaS、IaaS、PaaS、サービスモデル	
				1.1.4	クラウドとオンプレミス	・クラウド環境とオンプレミス環境の違いを比較し、さらにクラウドの各種機能と特性を把握することで、ニーズに適したインフラストラクチャとクラウドサービスを選択するためのポイントを理解する	パブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウド、ベア	
1.2			ハードウェアとソフトウェア	1.2.1	コンピュータを構成するハードウェア	・コンピュータを構成する主要なハードウェアコンポーネントとそれらの役割を理解する	CPU、メモリ、ディスク、NIC、GPU、プログラム、演算の仕組み、論理回	
#	大項目	#	中項目	#	小項目	学習目標	キーワード	
	ネットワーク		セキュリティ	1.4.1	情報セキュリティ管理	・情報セキュリティ管理の基本的な考え方を把握し、情報資産の概念とCIA（機密性、完全性、可用性）の定義、およびリスク分析について理解する	情報資産、CIA、情報セキュリティ事象、情報セキュリティインシデント、リスク分析、緊急時対応計画、災害復旧、ISMS、情報セキュリティ関連組織	
				1.4.2	情報セキュリティ対策	・人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、および物理的セキュリティ対策のそれぞれの特性を把握し、セキュリティ上の脅威に対してこれらの対策の重要性を理解する	利用者アクセスの管理、ログ管理、不正アクセス対策、マルウェア対策、多層防御、アクセス制御、脆弱性管理、侵入防止、侵入検知、DMZ、ファイアウォール、WAF、IPS、IDS、UTM、SSLアクセラレータ、監視カメラ、施設管理、入退室管理	
				1.4.3	セキュリティ実装技術	・サイバー攻撃手法と対策の基本を理解する	IPSec、SSL/TLS、SSH、HTTPS、パケットフィルタリング、VPN、サイバー攻撃手法と対策	
				1.4.4	セキュリティ関連法規	・セキュリティを強化するための技術が、どのように通信の安全性を確保し、それらが実際のネットワーク環境でどのように利用されるのか理解する	サイバーセキュリティ基本法、不正アクセス禁止法、個人情報保護法、情報セキュリティに関する基準	
		システムマネジメント	1.5.1	システム運用	・システム運用の基本的な概念と考え方を理解する。これには、システムの安定性や信頼性を維持するための体系的なアプローチを含む	システム監視、変更管理、構成管理、資産管理、キャパシティ管理、abuse		
			1.5.2	事業継続計画	・事業継続計画（BCP）と災害復旧（DR）の概念を理解し、それらが企業のリスク管理にどのように活用されるのか理解する	BCP、DR、可用性、冗長化、負荷分散、稼働率、SLA、バックアップとリストア、複製（クローン）		
		クラウドインフラの基礎技術	データセンター	1.6.1	データセンター	・データセンターの役割と機能の全体像を理解する	スペース、電力、空調、回線、電源冗長、回線冗長、入退館管理、24/365監視	
				1.6.2	仮想化技術	・仮想化の基本概念を理解する	仮想化、ハイパーバイザー、KVM	
				1.6.3	コンテナ	・コンテナの基本概念を理解する	コンテナ、Docker、名前空間、cgroups、Kubernetes	
				1.6.4	クラウドネイティブ	・APIとクラウドネイティブの基本概念を理解する	API、クラウドネイティブ、オートスケーリング、IaC、サービスメッシュ、DevOps、CI/CD	
							・クラウドネイティブの運用スタイルを理解する	



DXリテラシー標準策定のねらい

ビジネスパーソン一人一人がDXに関するリテラシーを身につけることで、DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる

Why DXの背景

社会の変化
顧客価値の変化
競争環境の変化

What DXで活用されるデータ・技術

データ	社会におけるデータ
	データを読む・説明する
	データを扱う
	データによって判断する
デジタル技術	AI
	クラウド
	ハードウェア・ソフトウェア
	ネットワーク

How データ・技術の利活用

活用事例・利用方法	データ・デジタル技術の活用事例
	ツール利用
留意点	セキュリティ
	モラル
	コンプライアンス

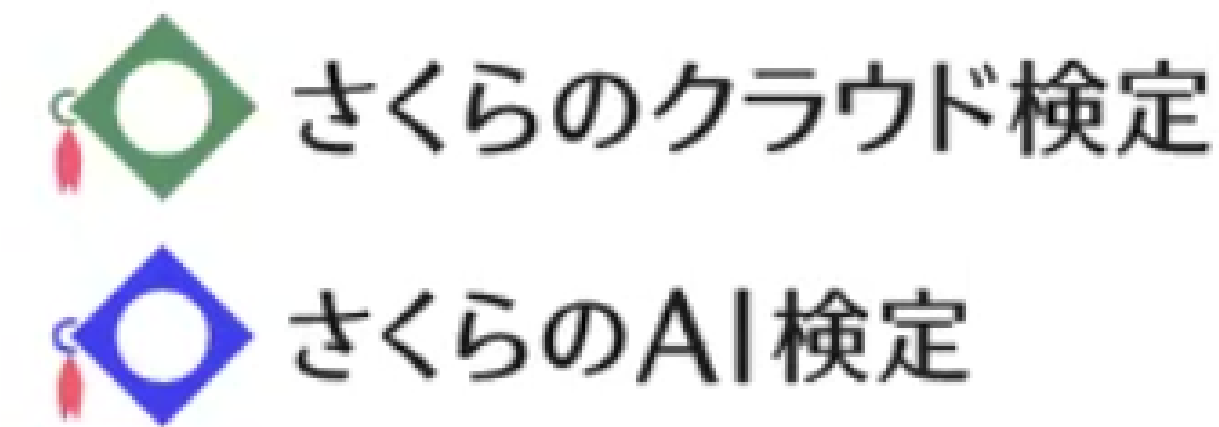
マインド・スタンス

デザイン思考／アジャイルな働き方

新たな価値を生み出す
基礎としてのマインド・スタンス

顧客・ユーザーへの共感	常識にとらわれない発想	反復的なアプローチ
変化への適応	コラボレーション	柔軟な意思決定
		事実に基づく判断

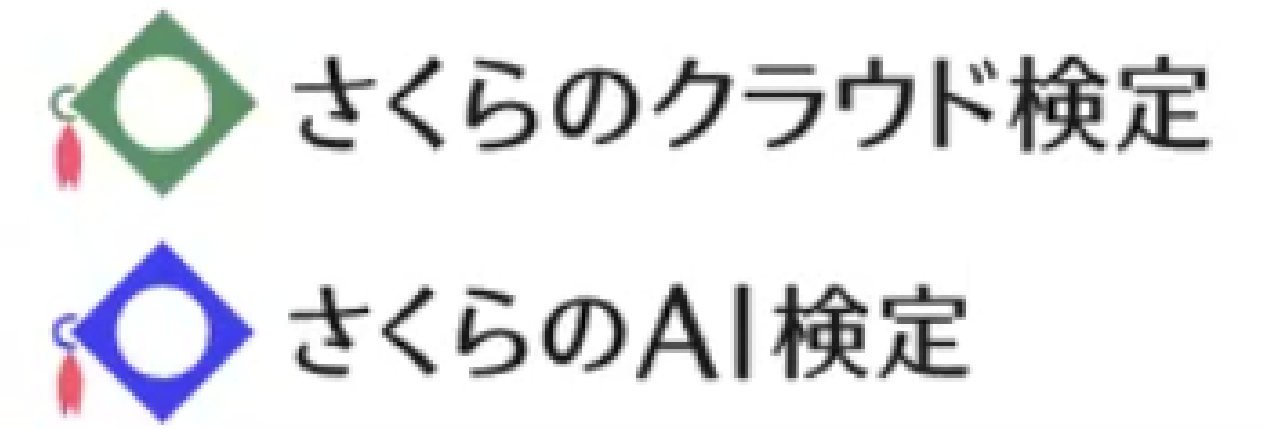
マイクロレデンシャルの形：②企業型



- ✓ 明確に定義された基準に基づいたアセスメントを含み、信頼できる提供者によって授与されるもの
- 社会インフラを担うクラウド事業者としての信頼感

ガバメントクラウド整備のためのクラウドサービスの提供 －令和8年度募集－における審査結果	
選定したクラウドサービス	
Amazon Web Services	(アマゾン ウェブ サービス)
Google Cloud	(グーグル クラウド)
Microsoft Azure	(マイクロソフト アジュール)
Oracle Cloud Infrastructure	(オラクル クラウド インフラストラクチャー)
さくらのクラウド	

マイクロレデンシャルの形：②企業型



- ✓ 単独で価値を持ち、さらに他のマイクロレデンシャルまたはマクロレデンシャルの一部を構成したり、それらを補完したりすることができるもの（既修得学習の認定も含める）

ベーシック→アドバンスドの段階設計

ベーシック

デジタル技術の基礎からクラウドの基礎、およびアーキテクチャ設計まで学べます。初学者が基礎知識を身につける目的に最適です。

【こんな方におすすめ】

- ・クラウドを初めて学ぶ方
- ・業務で使い始めたばかりの方
- ・基礎用語・構造を体系的に整理したい方

【身につくスキル】

- ・ITインフラの基本的な概念を理解している
- ・クラウドの基本用語と構成を説明できる
- ・「さくらのクラウド」の利用に際して、適切な機能とリソースを選択できる

【学習時間の目安】

- ・25～30時間程度

ベーシックの詳細を見る >

アドバンスド

クラウドやサービスの特性を踏まえ、設計・最適化など実務レベルの判断ができるかを確認する上位試験です。より現場に近い応用力を養います。

【こんな方におすすめ】

- ・クラウド利用や設計に触れた経験がある方
- ・実務に近い判断力を身につけたい方
- ・国産クラウドを高度かつモダンに活用したい方

【身につくスキル】

- ・「さくらのクラウド」を高度に活用したシステム構成を設計できる
- ・要件に応じたアーキテクチャ設計と最適化を行える

【学習時間の目安】

- ・40～50時間程度

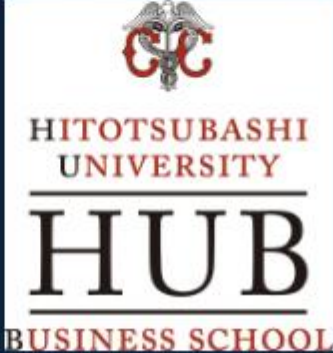
アドバンスドの詳細を見る >

マイクロレデンシャルの形：③大学型



CHOOSE YOUR STORY.

[ニュース](#) [会社概要](#) [コース](#) [研究調査](#) [採用情報](#) [お問い合わせ](#) [ログイン](#) [会員登録](#)



DXF オンデマンド

「デジタル・トランスフォーメーション・フォーラム（DXF）」は、DXを経営現場で率いる様々なリーダーが産業や企業の枠を超えて集う場として、一橋ビジネススクールが提供する短期集中型プログラムです。2018年の開講以来、これまでにのべ50社100名以上のDXリーダーを輩出しました。「DXF オンデマンド」ではDXF向けに開発した教材（非同期・自習形式）のカリキュラムを、期間中何度でも受講・確認可能にしました。

購入する



DXF オンデマンド

zero to one上でリリース!

構成	目安学習時間	価格	受講期間
・ビデオ教材 ・確認テスト 全てオンラインで完結	20時間程度	110,000円（税込）	購入後90日間 *ただし早期割引等あり

18

マイクロレデンシャルの形：③大学型



Digital Transformation Forum 2025

受領手続きをはじめる

ボタンがクリックできない場合は次のURLへアクセス
<https://www.openbadge-global.com/ns/portal/openbadge/receive/2fb9a45ddd8c47b7a66d7553661931b0>

マイクロレデンシャルの形：③大学型

MODULE1-0、1-1、2-5



藤川佳則

一橋ICS 教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE1-2、1-4



福原正大

IGS 代表取締役社長
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE1-3



名和高司

一橋ICS 特任教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-2



住山アラン

一橋ICS 非常勤講師
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-4



藤本隆宏

早稲田大学
ビジネススクール
教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-6



大上慎吾

一橋ICS 准教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE1-5



高津尚志

IMD 北東アジア代表
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE1-6、2-3



遠藤大輔

プラット
インスティテュート
助教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-1



楠木健

一橋ICS 特任教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-7



野間幹晴

一橋SBA 教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-8



小野浩

一橋ICS 教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-9



大藺恵美

一橋ICS 専攻長・教授
一橋ICS DXF ファカルティ

MODULE2-10、3-1



高岡明日香

グロービス経営大学院
教授
一橋ICS DXF ファカルティ

マイクロレデンシャルの価値とは？

① WHAT : 何を身につけたのか？

学修成果・スキルが明確



② ASSESSMENT : 本当に身についたのか？

試験・課題・評価



③ TRUST : 誰が保証するのか

JDLA／さくらインターネット／一橋ICS



④ PORTABILITY : 社会で使えるか

証明書・Open Badge／Digital Badge

学びを
価値に変える



おわりに



Takashi Takekawa,
CEO of zero to one, Inc.

ご清聴いただき、ありがとうございました。
何かご不明な点やお役に立てることあれば、お気軽にご連絡ください。

takashi.takekawa@zero2one.jp

zero ▶ one

CHOOSE YOUR STORY.